

Vol.16 地域で見守る認知症 交流の場・認知症カフェを開設

認知症は誰もがなりえる病気です。しかし、認知症の人への理解はなかなか進んでいないのが現状です。外出や人との交流を控えがちな認知症の人たちにとって、出会いがあり、ふれあいがある交流拠点は大切な居場所です。そんな拠点を民間で開設し、地域の人との交流の場として提供している認知症カフェがあります。「おいしいコーヒーを飲みに来てくれるだけでいい」というカフェは笑顔があふれています。

企画制作／下野新聞社 営業局

下野新聞

認知症カフェ

プロジェクト2022



山あいに、笑顔咲く交流拠点

開催日時 第1・3水曜日 11:00~14:30頃

開催場所 埼玉県飯能市吾野493-1

参加費 カフェ代金

お問合せ 042-975-3011(飯能市地域包括支援センターはちまん町)

北西端に位置する
吾野地区。山あい
にある喫茶店
「ロックガーデン
カフェ」に昨年12
月7日、地域のお
年寄りたちが次々
に姿を見せまし
た。この日は、1
年最後となる認知
症カフェの日。毎
年恒例のクリスマスイ
ベントが開かれ、サンタ帽
をかぶつたお年寄りたち
が、スタッフとクリスマ
スソングを歌ったり談笑
したりして楽しいひと
ときを過ごしました。

喫茶店を利用した認知
症カフェが始まったの
は、8年前 同市地域包
括支援法人、株式会社
ウエルペングループの高
橋正代さんが、介護文
援の一環で地区を訪れた
際、食事や休憩場所とし
て店をよく利用していました。
店主の小瀬哲子さ



ひだまりカフェ ロックガーデン

埼玉県飯能市の
北西端に位置する
吾野地区。山あい
にある喫茶店
「ロックガーデン
カフェ」に昨年12
月7日、地域のお
年寄りたちが次々
に姿を見せまし
た。この日は、1
年最後となる認知
症カフェの日。毎
年恒例のクリスマスイ
ベントが開かれ、サンタ帽
をかぶつたお年寄りたち
が、スタッフとクリスマ
スソングを歌ったり談笑
したりして楽しいひと
ときを過ごしました。

喫茶店を利用した認知
症カフェが始まったの
は、8年前 同市地域包
括支援法人、株式会社
ウエルペングループの高
橋正代さんが、介護文
援の一環で地区を訪れた
際、食事や休憩場所とし
て店をよく利用していました。
店主の小瀬哲子さ



サンタ帽をかぶって写真撮影

理せず、楽しんでやるこ
とが大事です

を飲みに来てくれるだけ
でいい」と高橋さん。当
初、利用者は山道を歩い
て来ていましたが、今は
カフェのスタッフが送迎
し、より気軽に足を運べ
るようになりました。

認知症カフェの日は売
り上げも上々で、喫茶店
と認知症カフェの運営は
「Win-Win（双赢）」のうれしい
協力でした認知症カフェを
立ち上げました。

第1と第3水曜の月
2回、カフェの定休日
に「開店」。利用者は旧
吾野村に住む70~90代の
約10人で、なじみの顔同
士でランチやお茶を楽し
かせます。談笑中、スタッ
フは詐欺やヒートショック
など高齢者にとって大
切な情報を発信します
が、「おいしいコーヒー

みんなで作る地域の居場所

開催日時 毎月第2・第4木曜日 10:00~11:30

開催場所 まちなか交流センターくるる 工作室
那須塩原市本町6-32

参加費 100円(お茶代)

お問合せ 0287-63-3868(那須塩原市社会福祉協議会黒磯支所)

は、店主のリエママ
が「認知症の人だけで
はなく地域の人みんな
が楽しめる居場所を作
りたい」と友人のアッ
コママを誘って「笑温
カフェ」を立ち上げま
した。J R 黒磯駅か
ら歩いて2分の所にある那須塩
原市民の交流セ
ンター「くるる」を訪ねると、コー
ヒーのいい香り
とともににぎや
かな笑い声が聞
こえました。

「ここは誰もが
つながり、出会
える場所。コーヒーだ
けでも飲んでいいね」
と笑顔で迎えてくれた
のは、店主のリエママ
が、保健師だったりエママ
が「認知症の人だけで
はなく地域の人みんな
が楽しめる居場所を作
りたい」と友人のアッ
コママを誘って「笑温
カフェ」を立ち上げま
した。

毎月2回、工作室を
手作りのテーブルクロ
スや持ち寄った花で飾
り付け、おいしいコー
ヒーを用意して約20人
の参加者をを迎えます。
講話、果物狩りなど「季
節に応じてみんながや
りたいことを楽しむ」
のが笑温カフェのスタ
イル。この日は、高齢
者向けの弁当宅配事業
を開催するワタミの協
力をにより弁当の試食会
が行われていました。
テーブルを囲むと、初

六人の仲間達による地
域の人と人を笑顔でつ
なげる試みの輪が少
しつつ広がっています。
出張カフェの実施など、
の理想は「行政でも保
険制度でもできない部
分を埋めていく」こと。
もちろん、訪れた人誰
もがほんの少しの時間
でも笑顔になれるカ
フェでありたいと思いま
す」と話すリエママ
も、じて会った人でも自然
に打ち解け会話を弾み
ます。

「認知症介護で疲れて
いる人や、寂しさを感じ
ている認知症の方は、
もちろん、訪れた人誰
もがほんの少しの時間
でも笑顔になれるカ
フェでありたいと思いま
す」と話すリエママ
も、じて会った人でも自然
に打ち解け会話を弾み
ます。

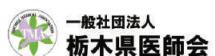
苺とちあいか
50名様にプレゼント!

▼応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、紙面の感想などを添えテ320-8686下野新聞社営業局「と
ちあいか」係まで応募してください。1月28日消印まで有効。商品の発送をもって発表とします。応募いただきました個人情報は、
商品発送・意見分析・下野新聞社主催および後援事業のご案内に使用させていただく場合があります。[下野新聞社営業局]

私たちには「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。



企画協力



応援医療機関

応援介護老人福祉施設

宇都宮駅前比企クリニック

宇都宮第一病院

宇都宮リハビリテーション病院

皆藤病院

見龍堂医療福祉総合クリニック

見龍堂クリニックかわせみ

済生会宇都宮病院

長島医院

那須赤十字病院

那須南病院

沼尾病院

橋本脳内科クリニック

村井クリニック

竹村内科脳内科クリニック

御殿山クリニック

真岡中央クリニック

緑の郷佐々木クリニック

宇都宮協立診療所

赤羽医院

デイホーム風のさんぽ道

今市レケアセンター

見龍堂メディアキューブ

グループホームかわせみ

※順不同(医療機関、介護老人福祉施設の順)



「フレイル」をご存知ですか? 「フレイル」とは、加齢とともに心身のはたらき、社会的つながりが弱くなった状態を指します。

フレイルの予防は日々の習慣と結びついています。早い時期から適切な取り組みを行うことで、フレイルを予防することができます。やりたいことや好きなことを楽しく続けていくために、フレイル予防の3つのポイントである「栄養、運動、社会参加」を毎日の生活に取り入れ、今からできることを少しずつ無理なく始めませんか?

栃木県保健福祉部高齢対策課 TEL 028-623-3148

健康長寿とちぎWEBで、フレイル予防の取り組みを詳しく紹介しています

健康長寿とちぎ フレイル予防

検索



『ウエルカフェ』は、
ウエルシア店内にあるフリースペースです。
栃木県内には、右記18店舗ございます。

ボランティアやサークル活動のほか、
打合せの場としてもご利用いただけます。
ご利用は『無料』ですので、
気軽に店舗従業員までご相談ください。



Welca

ご利用料金 無料(営利・宗教・政治活動を目的とする団体、及び法人のご利用はできません)
ご利用時間 10:00~18:00(原則、左記時間帯の間で最長2時間ですが、それ以外の場合も気軽にご相談ください)
ご利用のお申込み https://www.welcia-yakyoku.co.jp/welcautoまで